

「国際提携と日本学研究」
中国人民大学東アジア日本語文学文化国際シンポジウム

大会プログラム

受付 10月14日(金) 燕山大酒店ロビー 15:00-20:00

一日目 10月15日(土)

8:00- 受付を開始する。場所：中国人民大学 逸夫楼 F1 ロビー

8:30-9:20 開会式 (司会者：張威教授) 場所：逸夫楼 F1 第一報告ホール
ゲストの紹介

- ・中国日語教学研究会会長、天津外国語大学学長修剛教授のご挨拶
- ・教育部大学外国語専攻教学指導委員会日本語分委員会主任、中国日本文学研究会会長、元上海外国語大学常務副学長、譚晶華教授のご挨拶
- ・中国人民大学副学長、楊恵林教授のご挨拶
- ・中国人民大学外国語学院院長、何其辛教授のご挨拶
- ・日本国際交流基金北京文化センター主任、杉田松太郎先生のご挨拶
- ・日中友好平和連絡会秘書長、李大清先生のご挨拶

9:20-9:40 記念撮影 休憩

9:40-10:25 基調報告 司会者：成同社教授
講演者：中国日語教学研究会会長、天津外国語大学学長 修剛教授
テーマ：「日本語教育と日本研究
——異文化コミュニケーションの立場から」

10:25-10:35 休憩

10:35-11:20 特別講演① 司会者：張昌玉助教授
講演者：昭和女子大学教授 池上嘉彦先生
テーマ：「言語研究における認知言語学の基本的な姿勢」

11:20-12:05 特別講演② 司会者：張昌玉助教授
講演者：東京大学教授 尾上圭介先生
テーマ：「文法形式と文法的意味」

12:05-13:30 昼食

13:30-14:20 特別講演③ 司会者：李銘敬教授
講演者：教育部大学外国語専攻教学指導委員会日本語分委員会主任、中国日本文学研究会会長、元上海外国語大学常務副学長 譚晶華教授
テーマ：「新時代における中国の日本文学研究の概観」

14:20-14:30 休憩

14:30-17:30 パネルディスカッション (テーマ：「国際提携と日本学研究」
(一人当たりの発表時間は20分、大会ディスカッションは60分)
司会者：徐一平教授 (北京日本学研究センター主任)

14:30-14:50 南山大学鎌田修教授：「プロフィシェンシーに基づいた世界を結ぶ日本語

教育」

- 14:50-15:10 中国人民大学外国語学院張威教授：「海外の日本学研究の活性化には何が求められているだろうか——新しい時代の特徴を考える」
- 15:10-15:30 韓国同徳女子大学李徳奉教授：「韓国の日本学研究における連携事情」
- 15:30-15:50 スロベニア大学アンドレイ・ベケシュ教授：「欧州・スロベニアからみた日本学研究の可能性——相対化と国際連携」
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-16:20 台湾政治大学于乃明教授：「国際連携と日本学研究——小田切万寿之助の研究から国際連携の必要性を考える」
- 16:20-16:40 香港大学王向華教授：“从各国日本研究的国民性谈日本研究必须走向国际化的原因”
- 16:40-17:40 大会討論
- 18:00-20:00 歓迎パーティー 場所：匯賢食府（人民大学キャンパス内）
司会者：申淑子助教授

二日目 10月16日（日） 場所：中国人民大学明德主楼 F4（0410-0418 教室）

- 8:30-10:10 分科会（一人あたり、発表 20 分/質疑応答 5 分）4 人
ラウンド・テーブル（RT）（一人あたり発表 15 分/質疑応答 10 分）4 人
基調報告者：東京外国語大学名誉教授、放送大学客員教授 姫野昌子先生
テーマ：「日本語教育に直結する複合動詞の研究」
- 10:10-10:20 休憩
- 10:20-12:00 分科会（一人あたり、発表 20 分/質疑応答 5 分）4 人
- 12:00-13:30 昼食
- 13:30-15:10 分科会（一人あたり、発表 20 分/質疑応答 5 分）4 人
ラウンド・テーブル（RT）（一人あたり発表 15 分/質疑応答 10 分）4 人
- 15:10-15:20 休憩
- 15:20-17:00 分科会（一人あたり、発表 20 分/質疑応答 5 分）4 人
ラウンド・テーブル（RT）（一人あたり発表 15 分/質疑応答 10 分）4 人
- 17:00-17:15 休憩
- 17:15-17:45 閉会式 主持人：張威教授 場所：明德法学楼 0202
- ・中国日語教学研究会副会長、北京日本学研究センター主任徐一平教授の総評
 - ・日本認知言語学学会名誉会長、東京大学名誉教授、昭和女子大学教授池上嘉彦先生のご挨拶
 - ・中国日語教学研究会会長、天津外国語大学学長修剛教授のご挨拶
 - ・中国人民大学外国語学院常務副院長張勇先教授のご挨拶
 - ・中国人民大学日本語学部長成同社教授のご挨拶
- 18:15-20:00 懇親会 場所：峰尚餐厅（中国人民大学キャンパス内）
司会者：于素秋教授

司会担当者一覧表

氏名	担当	場所	時間
張 威	開会式司会者	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午前 (8:30-9:20)
成 同社	基調報告司会者	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午前 (9:40-10:25)
張 昌玉	大会特別講演①	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午前 (10:35-11:20)
張 昌玉	大会特別講演②	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午前 (11:20-12:05)
李 銘敬	大会特別講演③	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午後 (13:30-14:20)
徐 一平	パネルディス カッション	逸夫楼 F1 第一 報告ホール	15 日午後 (14:30-17:30)
申 淑子	歓迎パーティ 司会者	「匯賢食府」 (人民大学内)	15 日午後 (18:00-20:00)
林 璋、杉村 泰	第 1 分科会座長	明德主楼 0418	16 日午前 (8:30-12:00)
孫 敦夫、百留 康晴	第 2 分科会座長	明德主楼 0417	16 日午前 (8:30-12:00)
于 日平、朴 貞姫	第 3 分科会座長	明德主楼 0415	16 日午前 (8:30-12:00)
呉 大綱、趙 華敏	第 4 分科会座長	明德主楼 0414	16 日午前 (8:30-12:00)
宛 金章、玉岡 賀津雄	第 5 分科会座長	明德主楼 0412	16 日午前 (8:30-12:00)
李 銘敬、日向 一雅	第 6 分科会座長	明德主楼 0411	16 日午前 (8:30-12:00)
王 勇、馬 安東	第 7 分科会座長	明德主楼 0410	16 日午前 (8:30-12:00)
曹 大峰、守屋 三千代	第 8 分科会座長	明德主楼 0418	16 日午後 (13:30-17:00)
張 威、楠本 徹也	第 9 分科会座長	明德主楼 0416	16 日午後 (13:30-17:00)
兪 曉明、劉 笑明	第 10 分科会座長	明德主楼 0417	16 日午後 (13:30-17:00)
施 建軍、李 東哲	第 11 分科会座長	明德主楼 0415	16 日午後 (13:30-17:00)
張 岩紅、朱 京偉	第 12 分科会座長	明德主楼 0414	16 日午後 (13:30-17:00)
戴 煥、鮑 同	第 13 分科会座長	明德主楼 0411	16 日午後 (13:30-17:00)
盧 濤、韋 立新	第 14 分科会座長	明德主楼 0412	16 日午後 (13:30-17:00)
張 威	閉会式司会者	明德法学楼 0202	16 日午後 (17:35-18:00)
于 素秋	懇親会司会者	峰尚餐厅 (人民大学内)	16 日午後 (18:30-20:30)

分科会一覧表

10月16日午前(8:30-12:00)

第1分科会:日本語教育に直結する複合動詞の研究(RT1)			
会場: 明德主楼 0418		司会: 林 璋、杉村 泰	
基調報告 講演者: 姫野昌子先生(東京外国語大学名誉教授、放送大学教授) テーマ: 日本語教育に直結する複合動詞の研究			
1	曹 大峰	北京日本学研究中心	日本語複合動詞学習基本語彙の選定と課題 ——中国の日本語教育への直結をめざして
2	修 徳健	中国海洋大学	日本語複合動詞学習基本語彙の選定について ——語彙論的立場を通じて
3	守屋 三千代	創価大学	認知言語学から見た複合動詞 ——日本語教育を視野に入れて
休 憩 (10:10-10:20)			
10:20-12:00 「現代日本語複合動詞に関わる教学方略の研究」プロジェクトのグループ メンバーミーティング(関係者のみ参加) 司会: 張 威			

第2分科会 (8:30-12:00)			
会場: 明德主楼 0417		司会: 孫 敦夫、百留 康晴	
1	百留 恵美子	高雄第一科技大学	形式動詞ナルの原初
2	百留 康晴	島根大学	動詞「見る」の文法化について
3	王 暁	北京第二外国语学院/ 北京大学	日本語授受表現の中国語訳への一考察 ——「てくれる」構文が翻訳させられない 問題を中心に
4	部田 和美	筑波大学大学院	授受動詞ヤル・クレル・モラウの意味分析
休 憩 (10:10-10:20)			
5	廖 紋淑	名古屋大学大学院国 際言語文化研究科	心理動詞について
6	呂 雷寧	上海財経大学	可能の意味について
7	黄 春玉	上海海洋大学外国語 学院	中日動詞他動性と動態静態表現 ——構文文法との関連で
8	呂 文輝	北京第二外国語学院 日本語学院	「可能形」にかかわる助詞の問題 ——賞がもらえる? 賞をもらえる?

第3分科会 (8:30-12:00)			
会場: 明德主楼 0415		司会: 于 日平、朴 貞姫	
1	朴 貞姫	北京語言大学外国語 学院	日中テキスト結束手段の対照 ——「観念指示」を中心に
2	金 桂英	早稲田大学大学院日 本語教育研究科	対称詞「あなた」に関する考察 ——日本語学習者へのインタビュー調査か ら
3	晋 萍	上海海事大学	中国人学習者の現場指示における指示詞

			コ・ソ・アの使用実態調査(2)
4	張 継彤	上海理工大学	中日人称代名詞使い方の異同
休 憩 (10:10-10:20)			
5	劉 巖	日本学術振興会・ 京都大学	日本語の文脈指示における対立型のソ ——談話モデル理論による分析
6	于 日平	北京外国語大学	从“言語”→“语言”到“语言”→“言語” ——第二外语习得中的文体选择过程
7	申 淑子	中国人民大学外国語 学院	ビジネス日本語教育における文化的要素の 重要性——ビジネス日本語関連課目の目標 設定について考える

第 4 分科会 (8:30-12:00)			
会場: 明德主楼 0414		司会: 呉 大綱、趙 華敏	
1	福盛 寿賀子	西南学院大学	男性が使用する「女性語」 ——性を越えた配慮の言葉
2	李 錦淑	日本早稲田大学日本 語教育研究センター	「誘い」に対する「断り」の携帯メールに おける工夫
3	欧 文東	国際関係学院	意図することと意図されること
4	趙 華敏 李 凝	北京大学外国語学院 中央財經大学	初対面の自由会話におけるヘッジ (hedge) の使用状況 ——母語話者と非母語話者の比較を通して
休 憩 (10:10-10:20)			
5	呉 琮	復旦大学外文学院日 本語学部	日语口语短音便、长音便研究
6	任 星	厦門大学	中国人日本語学習者における促音の聴覚的 認知の特徴——日本語母語話者との比較
7	大久保 雅子	早稲田大学日本語教 育研究センター	中国語母語話者におけるナ行音・ラ行音の 聴取混同——中国方言話者を比較して
8	大工原 勇人	中国人民大学外国語 学院	「まあ」の強調的用法について

第 5 分科会 (8:30-12:00)			
会場: 明德主楼 0412		司会: 宛 金章、玉岡 賀津雄	
1	木村 一人	湖南省吉首大学外国 語学院日本語学部	テ形接続の誤用と中国語の無標複句
2	初 相娟 玉岡 賀津雄 大和 祐子	名古屋大学大学院交 際言語文化研究科	学習歴4カ月の中国人日本語学習者による 動詞活用の習得
3	玉岡 賀津雄 邢 曉婧	名古屋大学大学院国 際言語文化研究科	多言語の脳内レキシコンの相互結合 ——日本語の外来語処理に及ぼす英語およ び学習者の母語の影響
4	文 俊	北京語言大学日本語 学部	通訳授業における接続詞教育内容のデザイン ——精読授業への回顧と通訳授業内容への 考慮を含めて
休 憩 (10:10-10:20)			
5	謝 育新	北京第二外国語学院 日本語学院	視聴覚授業の内容について

6	白 家瑶	北京大学医学人文研究院	医学日语教学中的日译中教授法研究
7	張 元卉	北京理工大学	日本文化授業ポートフォリオ評価の実践と授業設計
8	宛 金章	北京師範大学	创设新的外语教学环境，教学内容和教学活动，借以培养外语专业学生与社会的对话能力

第 6 分科会 (8:30-12:00)

会場：明德主楼 0411

司会：李 銘敬、日向 一雅

1	日向 一雅	明治大学	平安文学の自然表現をめぐって ——政教的文学論の観点から
2	芝崎 有里子	明治大学大学院文学研究科	『落窪物語』と唐代伝奇 ——『遊仙窟』を中心に
3	西野入 篤男	明治大学	『源氏物語』の視点・方法と白居易の諷諭詩 ——新楽府「傳戎人」と玉鬢物語
4	郭 穎	廈門大学外文学院	小论江戸汉诗中的咏古诗

休 憩 (10:10-10:20)

5	李 銘敬	中国人民大学外国語学院	『日本靈異記』のテキスト研究の現在 ——原文の校注と訓読をめぐって
6	王 佳璐	長春工業大学外国語学院日本語学部	日本初期遊里漢文小説について ——『平安花柳録』を代表として
7	宋 成徳	山東大学外国語学院	『万葉集』の季節感について ——春を中心に

第 7 分科会 (8:30-12:00)

会場：明德主楼 0410

司会：王 勇、馬 安東

1	寿 舒舒	浙江経貿職業技術学院・広東外語外貿大学	中世における禅僧往来と日本水墨画
2	馬 安東	浙江大学外国語言文化与国際交流学院	芭蕉俳句与禅
3	齐 夢菲	電子科学技術大学中山学院	中世初期の地藏信仰についての一考察 ——『今昔物語集』の地藏靈驗譚をめぐって
4	劉 琳琳	北京大学日本語学部	日本古代・中世の皇統譜

休 憩 (10:10-10:20)

5	張 忠鋒	西安外国語大学	神仙思想に夢見る万葉人の浪漫 ——七夕歌を中心に
6	孫 敏	国際関係学院日仏語学部	柳田国男的祭日研究
7	尤 海燕	青島大学	対策における儒教的な宇宙観 ——桓武天皇の治世との関わりから

10月16日午後(13:30-17:00)

第8分科会:日本語教育に直結する複合動詞の研究(RT2)			
会場: 明德主楼 0418		司会: 曹 大峰、守屋 三千代	
1	杉村 泰	名古屋大学大学院国際言語文化研究科	中国語話者による複合動詞「V1-疲れる」のV1+V2結合
2	王 怡	北京第二外国語学院 日本語学院	日本語教材における複合動詞使用状況の調査報告
3	陈 曦	西安外国語大学東方 語言文化学院	基于学习者语料库的日语复合动词偏误分析
4	李 曼	湖南師範大学外国語 学院日本語学部	日中複合動詞構成要素間の意味関係に関する一考察——『ノルウエーの森』における語彙的複合動詞を中心に
休 憩 (15:10-15:20)			
5	王 軼群	中国人民大学外国語 学院	限界性から見る日本語と中国語の複合動詞
6	楊 曉敏	復旦大学	複合動詞の前項・後項に見られる意味拡張の特徴について
7	苗 芡	日本経済大学	アスペクトを表わす「V出す」の意味転換について

第9分科会:有対自動詞による無標の可能表現に関わる研究(RT3)			
会場: 明德主楼 0416		司会: 張 威、楠本 徹也	
1	姚 艷玲	大連外国語学院	有対自動詞による無標識可能文の成立条件——<可能>の意味合成のメカニズム
2	青木 ひろみ	神田外語大学	日本語母語話者に見られる可能表現の変化について
3	楠本 徹也	東京外国語大学留学生 日本語教育センター	有対自動詞可能表現における概念的特性
休 憩 (15:10-15:20)			
4	張 威	中国人民大学	有対自動詞による無標識可能表現研究に関わる諸問題
5	呂 雷寧	上海財経大学	無意志自動詞に含まれる<可能>と<可能性>と<認識上の可能性>
6	李 麗	鄭州大学外国语学院	日本語自動詞無標識可能表現から見られる連続性

第10分科会 (13:30-17:00)			
会場: 明德主楼 0417		司会: 俞 曉明、劉 笑明	
1	國澤 里美	名古屋大学大学院国際言語文化研究科	婉曲用法としての認識のモダリティ
2	劉 笑明 唐 姗姗	天津外国語大学	中国語の「了」と日本語の「タ」について——モダリティの視点から
3	劉 笑明 袁 燕	天津外国語大学	陳述論からモダリティ論への展開

4	朴 仙花	名古屋大学国際言語文化研究科博士後期課程	断り発話における中国人日本語学習者による文末表現に関する考察 ——「知識」から「運用」へ
休憩 (15:10-15:20)			
5	李 所成	北京外国語大学日本語学部	いわゆる助動詞「タ」の本質 ——叙法論の立場から
6	孫 敦夫	西安外国語大学東方言語文化学院	アスペクトの情報伝達機能 ——「タ」形と「テイル」形を中心に
7	何 婷	電子科技大学中山学院	「～テイル」形の「反実仮想」用法に関する一考察
8	俞 曉明	北京語言大学外国語学院	サセラレルのヴォイス性再考 ——「使役可能」の意味用法をめぐって

第 11 分科会 (13:30-17:00)

会場: 明德主楼 0415		司会: 施 建軍、李 東哲	
1	李 東哲	延辺大学日本学研究所	日本語動詞の名詞化における意味の拡大と縮小について
2	大野 純子	日本大正大学文学部	「日本語オノマトベ実用辞典」編集方針試案
3	陳 帥	名古屋大学国際言語文化研究科	類義オノマトベ「くるくる」「ぐるぐる」の使用特徴
休憩 (15:10-15:20)			
4	施 建軍	北京外国語大学北京日本学研究センター	关于日语复合词“山手”中“手”语义扩展问题的探讨
5	権 曉菁	江蘇大学	中国語母語話者による日本語の外来語の習得について
6	陳 潔羽	電子科技大学中山学院	意味不確定性による矛盾型ナゾの分類
7	張 興	洛陽外国語学院日本語学部	「N+いっぱい」の認知的分析

第 12 分科会 (13:30-17:00)

会場: 明德主楼 0414		司会: 張 岩紅、朱 京偉	
1	蘇 穎 曹 紅荃	西安交通大学外国語学部日本語科	日本語「開」についての研究及び中国語「开」との対照
2	高橋 弥守彦	大東文化大学	日中対照関係から見る“出+空間詞”について
3	劉 雅静	筑波大学人文社会科学部研究科	一語名詞文から見る「タ」の意味機能 ——中国語の“是”との比較を通して
4	林 璋	福建師範大学日本語学部	日本語の活用体系について ——日本語教育の立場から
休憩 (15:10-15:20)			
5	張 岩紅	大連外国語学院	副詞“曾经”と助詞“过/了”に対応する日本語訳について
6	范 一楠	広島大学大学院	日本語学習者の「のだ」の習得に関する研究

			——3年間の縦断データに基づいて
7	劉 艶文	中央民族大学外国語学院日本語学部	時間・空間の接点から見る「まえ節」構文の意味
8	徐 英錦	延辺大学外国語学院日本語系	日漢持续体标记的对比分析

第13分科会 (13:30-17:00)

会場: 明德主楼 0411		司会: 戴 煥、鮑 同	
1	鮑 同	北京工业大学	日本文学译介中作品题目的“异化策略”与作用
2	安 勇花	延辺大学外国語学院日本語学部	志賀直哉の『城の崎にて』論 ——「死」のありかたをめぐって
3	戴 煥	中国人民大学外国語学院	「湖南の扇」から見た芥川龍之介における<中国>
4	王 静	河南師範大学外国学院	宮沢賢治の「手紙四」について

第14分科会 (13:30-17:00)

会場: 明德主楼 0412		司会: 盧 涛、韋立新	
1	吳 栓友	河南師範大学外国学院	和辻哲郎の天皇観
2	孫 倩	電子科技大学中山学院	明治漢学者那珂通世における戦争観 ——『修身教育勅語講義』を手がかりに
3	錢 昕怡	中国人民大学外国語学院	浮田和民の「倫理的帝国主義」 ——日本初期帝国主義論に対する一考察
4	蔡 鳳林	中央民族大学外国語学院日本語学部	中国地域文化が日本古代文化形成および発展に与えた歴史的影響について
休 憩 (15:10-15:20)			
5	于 素秋	中国人民大学外国語学部	その“符号”は「家紋」という ——日本家紋文化解読
6	冉 毅	湖南师范大学外国語学院日本語系	牧溪其人及八景图传入日本之论考
7	徐 園	中国人民大学外国語学院	戦前期における男の子像に関する一考察 ——新聞連載漫画を中心に
8	盧 涛	広島大学社会科学研究院	日本人学生の他者との関わり方 ——親、先生、友達

(注: 分科会: 98人; 大会主题发言: 6人; 基调讲演: 4人; 发表者合计: 108人)